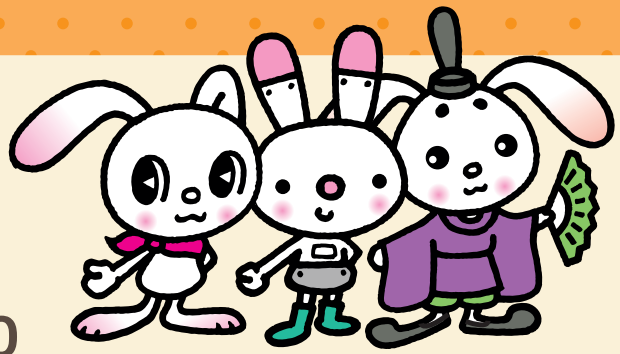


エコチル どすえ かわら版

Vol.10

エコチルどすえかわら版 はエコチル調査京都ユニットセンターと京都・長浜・木津川の参加者の皆さまを繋ぐ会報誌です



エコチル調査へのご協力に感謝申し上げます



ほねかわすじえもん
小さな頃の私は食が細く、体格も細くて骨筋衛門と言われていました。母が何とか食を増やそうといういろいろ苦労していたことを思い出します。現在はその反動で過栄養気味になり、月日のうつろいを感じています。出身は愛媛県です。田舎で育ちましたので、春・夏・秋・冬の季節の風景・におい、若い緑の稲の上を駆け抜けていく風の音、春の花に引き寄せられたみつばちにちよっかいをだして刺さってしまったこと、田んぼの用水路を飛び越えようとして、ずぶぬれになったことなど、自然に関する思い出ばかりです。

平家 俊男 (へいけ としお)

エコチル調査京都ユニットセンター長 / 京都大学大学院 医学研究科 発達小児科学教授 (iPS 細胞臨床開発部長)

前京都ユニットセンター長の小西郁生先生のご退職により、今年度よりセンター長を引き継ぎました京大病院小児科の平家です。よろしくお願い申し上げます。

最初に、平成 23 年 1 月から始まりました環境省の「子どもの健康と環境に関する全国調査 (エコチル調査)」にご参加頂いております京都と滋賀のみなさまに、まずは御礼を申し上げたいと思います。

私たちを取り巻く地球環境は、近年大きく変化し続けています。その中で、お母さんのお腹にいる胎児、赤ちゃん、乳児・幼児・学童期の発育に、どのような影響を与えているかを調べることは、子どもたちが健やかに成長できる環境、安心して子育てができる環境の実現のために、非常に大事なことです。

実際、アトピー性皮膚炎や喘息に苦しむ子どもたちが近年明らかに増加していますし、肥満などにより、大人になってから糖尿病などの生活習慣病になりやすい状況も増加してきています。また生まれた時点で何らかの異常がある赤ちゃんも少しずつ増えてきているといわれています。このように、赤ちゃんや子どもの発育に、私たちの生活環境や環境中に存在する物質が大きく関わっている可能性があるのです。

そこで、未来の子どもたちの健康を守るために、今のうちに、私たちの現在の生活環境と赤ちゃんや子どもたちの発育状態との関係をよく調べ、悪影響をもたらしている原因をつきとめていこうという研究調査を行うこととなりました。環境省が中心となって、日本全国 15 か所から 10 万人の赤ちゃんを登録し、13 年間にわたってその後の発育状況を調べ、それとともに 15 か所の生活環境も分析するという、とても大がかりな調査です。

本年 (平成 28 年 1 月 28 日) には、5 周年記念としてのエコチル調査シンポジウムが日本科学未来館・未来館ホールにて開催され、あらためて「エコチル調査、何を調べるの?」とともに、「最新の情報は?」「これからどうなるの?」といったことも報告されるようになってきています。

このエコチル調査には、平成 26 年 5 月末 (参加者募集終了時) の段階で、京都市の左京区・北区、京都府木津川市、そして滋賀県長浜市にお住まいの 3982 人の妊婦の方にご参加いただくこととなりました。その後、やむを得ない事情でフォローアップから外れてしまわれた方もいらっしゃいますが、平成 28 年 8 月末の段階で 3815 人のエコチルキッズの皆さんに継続してご参加頂いております。この継続率の高さは、全国 15 か所のユニットの中でもトップクラスであり、これもご参加いただいております皆様の多大なご理解とご協力があったことと、あらためて厚く御礼申し上げます。

このように、この調査は、子どもの発育にとって理想的な環境作りを目指し、私たちが住んでいる地球、そしてこの日本において、今、子どもたちが成長していく生活環境を分析することにより、未来の子どもたちの健康を守ろうというとても大切な研究です。実際の調査は、京都大学の産婦人科、小児科、大学院社会健康医学系、同志社大学赤ちゃん学研究センターのメンバーとともに、エコチル調査京都ユニットセンターが中心となってすすめております。

エコチル調査に参加して下さったみなさん、子どもたちの未来のために、今後とも末長くご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

エコチルフェスタ 2016

エリックさんと
うたって
あそぼう！



ありがとう
ございました

みなさまより

フェスタのお申込みハガキに、たくさんのメッセージをお寄せいただきました！その中から少しだけご紹介します。フェスタの当日を迎えるまで、皆さま楽しみにお待ちいただけましたか？

ケーキのアミさんより

エリックさん
を書きました。



【京都地区・投稿者さんより】
夏のコンサートは2回参加しましたが、いずれも楽しくって、2歳の子は0歳の時、子守り歌のようにスヤスヤ寝ていました。いまでは歌や踊りが大好きなので、反応が楽しみです。

【うさPさんより】
去年の夏のエコチルイベントは早めに下の子が生まれて参加できませんでした。なので、今年がとっても楽しみです～！

がんばるママさんより



まさかあのエリックさんか
やっさるんて...!!!
是非参加したいです!!
がんばるママのごほうびに
よろしく願います♡(笑)

べべちやまさんより



今回のエコチルフェスタは子どもも知っているエリックさん
はな。とても楽しみにしています。

【ゆうまあさんより】

調査に協力させていただいているといっても年に数回回答する程度ですが、調査されている方やエコチル関係者の方とは距離があるので、少しでも近づけたらという思いでエコチルフェスタに参加させていただけたらなと思いました。いつもありがとうございます。

月と太陽さんより



【長浜地区・投稿者さんより】
いろいろなイベントのお知らせをいただきましたが、平日が多く参加したことがありませんでした。今回はエリックさんのイベントで、子どものテンションも↑↑です。楽しみにしています。いたずらすると「そんなことしたら、エリックさんにあえないぞ～」と言い聞かせてます。

長浜地区 7月23日(土)

まずはバイオリンのコンサートで始まりました。お子さん向けに妖怪ウォッチや、保護者の方向けのジャズなど、バラエティ豊かなプログラムでした。生のバイオリンを見て聴くのは初めて！というお子さんも多かったようです。英語の歌のコンサートでは、客席に下りて来られたエリックさんに大興奮の皆さんが印象的でした。英語を知らない小さいお子さんも、保護者の方からも「楽しかった～！」とご感想いただき大変嬉しくしております。ロビーでは各種展示の他に、身長計測コーナーもあり、大盛況でした。皆さん大きくなっていったかな？



浅井文化ホール 共催：長浜市

京都地区 7月30日(土)

同志社大学 寒梅館ハーディーホール 後援：京都市

木津川地区を担当しているのが同志社大学というご縁で、今回は、同志社大学室町キャンパスにあります寒梅館ハーディーホールで行いました。ご家族やお友だちと一緒に、午前午後合わせて1127人のエコチル関係者がご来場くださいました。はじめに「リトルキッチン」「あるけ あるけ ためき」「ながいながーいかみのお話」という題の短い映像を3つ見ていただきました。会場が少し暗くなり、ドキドキしたけど、映画館デビューができましたね。

そしていよいよお待ちかねのエリックさんの登場です。司会のお兄さんと一緒に「エリックさ～ん！」とみんなで声を合わせエリックさんと呼ぶと、エリックさんはギターを持って、走ってステージに出て来られました。1曲目からノリノリのエリックさんにつられて子どもはもちろん大人も体を動かしながら、英語の歌を楽しみました。楽しすぎて、30分のコンサートはあっという間に終わりました。

最後はお兄さんと一緒に、大きな声でお礼を言いました。「エリックさ～ん！ありがとう～！」



客席に下りて来られたエリックさんと一緒に、会場は一体となって盛り上がりました！

木津川地区 8月20日(土) 木津川市山城総合文化センターアスピアやましろ 後援：木津川市

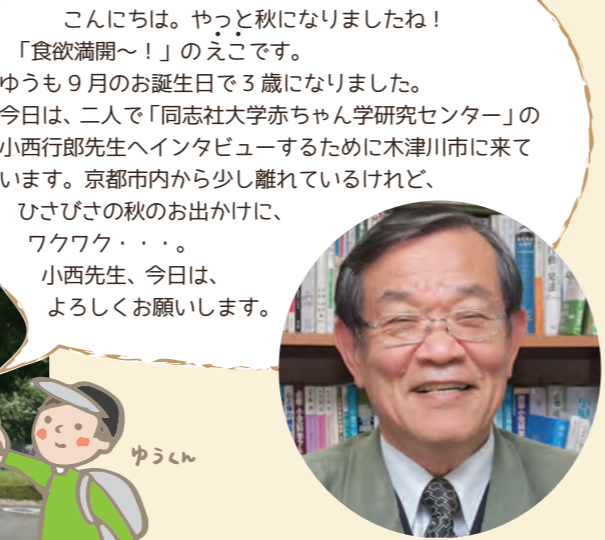
夏休み終盤、まだまだ暑い中、熱い熱いエコチルフェスタにお越しいただきありがとうございました！！

ミニシアターでは、子どもたちが3本の映像を真剣なまなざしで鑑賞していました。映画の中から「おしまい」と声がかかると、会場からは自然と拍手が起こりました。

エリックさんとうたってあそぼう！では、エリックさんの登場から大歓声がおこり、続く演奏ではノリノリダンスを踊る子どもたちが、あちこちで飛び跳ねていました。

調査報告の展示をご覧いただいたり、身長体重を測定いただいたり、私たちには皆様と交流をさせていただける貴重な機会になりました。今後のイベントで、さらに多くの皆さまにお目にかかることを楽しみにしています！





小西行郎 (こにし ゆくお)
同志社大学 赤ちゃん学研究センター 教授
京都ユニットセンター 副センター長

こんにちは。やっと秋になりましたね！
「食欲満開〜！」のえこです。
ゆうも9月のお誕生日で3歳になりました。
今日は、二人で「同志社大学赤ちゃん学研究センター」の
小西行郎先生へインタビューするために木津川市に来て
います。京都市内から少し離れているけれど、
ひさびさの秋のお出かけに、
ワクワク・・・。
小西先生、今日は、
よろしくお願いします。

Q1 「エコチル調査京都ユニットセンター」と「赤ちゃん学研究センター」って、どんな関係があるのですか？

えこさん 私は京都市左京区のエコチル参加者なので、木津川地区には初めて来ました。ここも「京都ユニットセンター」なんですよ？あれ？でも、建物の入り口には「赤ちゃん学研究センター」って、書いてありますね・・・。「エコチル調査京都ユニットセンター」と「赤ちゃん学研究センター」は、どんな関係があるのですか？

A 同志社大学赤ちゃん学研究センターは京都大学と一緒に、京都ユニットセンターとしてエコチル調査を進めています。京都大学は京都地区、長浜地区の担当ですが、同志社大学赤ちゃん学研究センターは京都府南端の木津川市にあり、木津川地区でリクルートをさせていただいた参加者の皆さんを担当しているんです。

Q2 「赤ちゃん学」って、どんな研究をしているんですか？

えこさん そうだったんですね。何だか親しみがわいてきました。今回、私は「赤ちゃん学」という言葉を初めて聞きました。赤ちゃんの勉強？赤ちゃんの学問・・・？いったい、どんな研究をしているんですか？

A 「赤ちゃん学」の「赤ちゃん」は「ヒトのはじまり」を象徴しています。私たちがどうやってできあがっていくのか、その最初から発達のメカニズムをひもといてゆきたい、そう考える研究者がさまざまな角度から研究を進めています。ですから「赤ちゃん学」は、たくさんの研究分野が融合しなければなりません。

Q3 「赤ちゃん」って、何歳くらいまでの子どものことをいうのでしょうか。

えこさん ホームページで「赤ちゃん研究員」の募集を見つけました。ネーミングに惹かれて、思わず募集に入ってしまった・・・でも、先生。「赤ちゃん」って、どのくらいの年齢の子どもことをいうのでしょうか？私はつい、「ゆうも、まだまだ赤ちゃんねえ〜」といった感じで使っているのですが。

A 一般的には「赤ちゃん」とは乳児、つまり1歳くらいまでを指します。が、先にお話したように「赤ちゃん学」ということで、その幅は広がります。人間の成長（発達）は区切ってはわかりませんからね。赤ちゃん学研究センターでは成人の研究もしています。研究の内容によって対象の月齢や年齢が違ってくるので、もしかすると3歳のゆうくんにもお願いすることができるとも思っています。

えこさん え！ほんとうですか？そんな機会がありましたら、ぜひお声がけください。

Q4 研究に参加している親子の皆さんはどんな様子ですか？

えこさん センターでは、赤ちゃんの「ひとりごとの研究」もされているんですね。そういえば、ゆうも4か月くらいの時、「うー」とか「あー」とか言ってたのを思い出して、何だか懐かしくて。そして、こんな身近なことを切り取り「研究」しているんだなと知って、嬉しくなりました。私もゆうと一緒に参加したかったな・・・。研究に参加している親子の皆さんは、どんな様子なんですか？

A お母さんは、赤ちゃんの可愛らしい声やおはなしを始めたばかりのことばに、一緒に声を合わせてみたことがあるでしょう。歌ったり歓声をあげたり、人が声を合わせることにはお互いの結びつきを強める効果があるといわれていますが、人間のこの行動の意味を赤ちゃんとの声合わせを通じて探っています。

他にも、「赤ちゃんは人の顔がどれくらいわかっているの？」「赤ちゃんは医者嫌い？」「赤ちゃんの人見知りはなぜおこるの？」「赤ちゃんはどうやって物をえらぶのかな？」など、各研究者がテーマにそって、たくさんの赤ちゃんに研究室に来てもらって調査をしています。赤ちゃんのことを深く理解することで育児や保育ももっと楽しくなるはずです。子どもたちは周りの人たちに働きかけて育ちます。そうしたことを理解するだけでも、子どもたちとおつきあいが変わってくるでしょう。子どもの発達への正しい理解が子どもたちの健やかな成長にとって大切だという思いで、皆、研究を続けています。1時間ぐらいの調査が終わる頃、場所にもスタッフにも慣れた赤ちゃんが楽しそうに遊んでいて、お母さんが笑顔で研究者やスタッフと話されているのを見ると、お母さんにとっても束の間の息抜きの時間になっているのかなと、嬉しく思います。



同志社大学 赤ちゃん学研究センター
TEL : 0774-65-6066
〒619-0225 京都府木津川市木津川台 4 丁目 1-1 同志社大学学研都市キャンパス (快風館) 内



やさしい雰囲気センター内のお部屋の様子。親子の皆さんにゆったりと調査にご参加いただいています。

Q5 最後に、エコチルママへのメッセージをお願いします！

えこさん 先生はお子さんが4人もいらっしゃるとのこと。子育て中は、目が回るような毎日だったと思うのですが、子育て世代のエコチルママにメッセージをお願いします！

A 7人の孫に囲まれて、ようやく自分の子育てが一段落したように思っています。「育児」なんてことを考える間もなく、毎日、子どもたちと格闘しながら、何がなんだか分からないまま過ぎていきました。育児だけが格別に変だということではなく、生きるということはそういうことだと思えます。とにかく目の前の、やるべきこと、やらねばならないことに無我夢中で取り組んでいるうちに過ぎて行く。ふと振り返ってみれば、そんな日々が「今にして思えばよかった」と言えるのでしょう。夢中になれる時が一番しあわせだとも思っています。子育て中のママたちには、あまりむずかしいことは考えずに「とにかく前を向いて進むだけ」というメッセージを送ります。もちろん、わが子と一緒に・・・です。振り返れば、楽しいことしか残らないものです。

えこさん 私たちも、こうやって少しずつお出かけの範囲が広がるようになりましたが、まだまだ格闘の毎日です。でも、先生にお話をお伺いすることができて、ほっとしました。小西先生、今日はありがとうございました！



やっぱりおちた...
ベビーカーで来た
よかったかな...

ぞりぞり
歩いて
よかったわ!!

おたより、ありがとうございました

DOO-DOOO

エコチルフェスタへのお申し込みハガキにて皆さまにアンケートをお願いしたところ、エコチル調査へのご意見、エコチルキッズ・エコチルママのイラストなど、たくさんのお寄せいただきました。ありがとうございます！

その中より、一部をご紹介！



エコチルカレンダーのふろくをおそんでくれました

上は、父と妹が、下は、姉が作りました！



木津川地区 投稿者さんより

詳細調査に参加してます。発達検査など、子供の意外な得意分野が見つかりましておもしろいです。

かおりんさんより

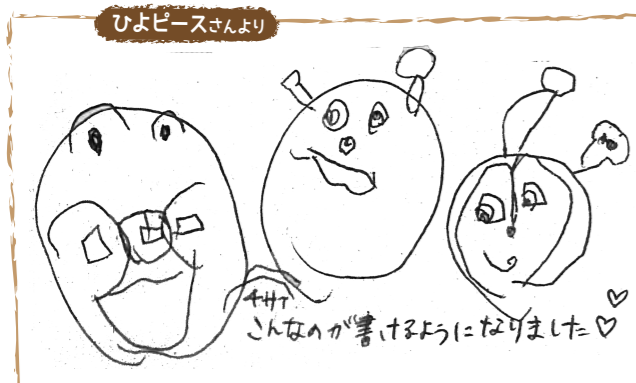


娘はエコチル封筒が届くと「問題出して〜!!」と近寄ってきます。クイズみたいで楽しいみたいです。

パンダ大好き姉妹さんより



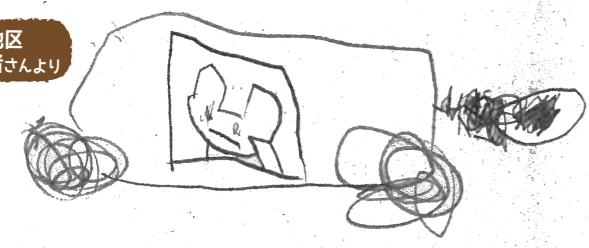
なっちゃんさんより



ひよピースさんより

こんなのが書けるようになりました♡

長浜地区 投稿者さんより



ぼくのたいきなくるまに エコチルのうさぎさんがのっています。

輝く子どもたちの未来に... エコチル調査結果が役に立つように*願っています



すずらんさんより

たくさんのエコチルキッズたちと一緒に成長している...と思うと、いつも心強いです。イベントも、楽しみにしています！

はんなんさんより

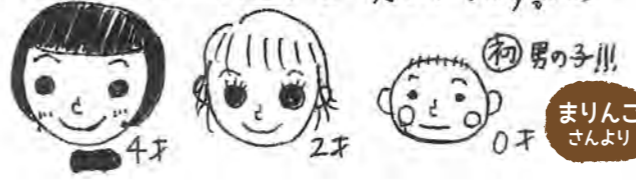
いつも、エコチルからの手紙を楽しみにしています。入場無料のイベントも企画していただき、本当に参加して良かったと思います。今後、食育のイベントがあれば良いのかなと思います。子どもが成長するにつれ、栄養面に関して手づくり状態での毎日食事を作っているの...。

じよんさんより

京都地区 投稿者さんより

成長を確認できる良い機会になっていてありがたいです。

5/26 3人目が産まれました。にぎやかになります!!! (上2人はエコチルキッズですが3人目はエコチルキッズではないのでちょっと物足りない感じがします。(笑))



しましまさんより

エコチルからの封筒が届くといつも開けるのが楽しみです。子育てに追われる日々ですが、いろいろな情報を知ることができたり子育てをがんばっている方とのつながりを感じてホッとします。今回のイベントを楽しんで、いろいろな企画をありがとうございます。



ちーちゃんさんより



みきたくさんより

エコチル調査は、うちの次男のとうまがうまれてすぐのことでした。やむを得ず書類を書くことと忘れてしまいましたが、息子に意識をぶひれるいい機会だと思っています。エコチル調査、ぜひよろしくお願いします!!

ゆきんこさんより



半年に一度、調査が来るたびに、4歳になる娘がどのくらい成長したかを改めて知る良い機会となっています。そんなお姉ちゃんがやることを見てやりたがる、調査を受けていない下の子(1歳)が邪魔して娘が怒ってケンカに... そんなことが出来るようになったのを見ることが出来るのも、この調査のおかげ? (笑) と、ありがたく思っています。

ママさんより

貴重な研究に参加できたこと、嬉しく思っています。新たな研究成果が出ることを楽しみにしています!

ハルママさんより



あきおさんより



あおっちゃんさんより

HYさんより



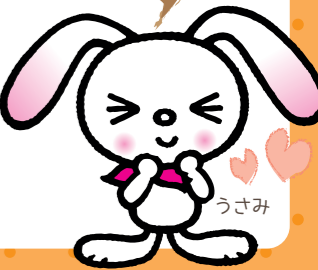
うさP

エコチルキッズたちのイラストや作品もたくさん! どの作品も、それぞれステキ! うさPや、うさみの似顔絵を描いてくれたキッズもいるわ。うれしい〜。ホームページの投稿欄にもぜひ投稿してね! これまでいただいたメッセージも掲載しています。

それゆけエコチルキッズ <http://ecochil-kyoto.jp/ecochilkids/>



エコチルキッズの日々の様子を、写真やコメントで紹介したり、イラストを投稿してみませんか? エコチル京都のホームページ内の「それゆけエコチルキッズ」は、エコチル調査にご参加されているみなさまの投稿コーナーです。たくさんのご投稿、お待ちしております。



うさみ

各地区のイベントのお知らせ

★対象地区の皆さまにはイベントチラシを同封しております。詳細は、チラシをご覧ください。

長浜 エコチルファミリア

- 音楽と絵本であそぼう
Book Room @図書館
開催日：12月2日(金)
場所：浅井図書館エントランスホール
- エコチルママのためのぶちヨガ教室
※長浜地区にお住まいの方には、12月上旬にご案内を郵送いたします。お楽しみに！
開催日：1月16日(月)
場所：ウェルセンター
開催日：1月26日(木)
場所：長浜保健センター高月分室

京都 プチイベント

- 人形劇
開催日：10月22日(土)
場所：京都子どもみらい館
- お名前バッグをつくろう！
開催日：11月12日(土)
場所：京都子どもみらい館
- 産婦人科医の先生と話そう！
～女性のからだはどこ～
京都大学産婦人科医：江川美保先生
開催日：11月30日(水)
場所：左京保健センター

木津川 エコチルカフェ

- リフレッシュ体操
開催日：10月22日(土)
場所：いずみホール
※12月上旬にも開催予定です。
木津川地区にお住まいの方には詳細が決まり次第、ご案内を郵送いたします。
- 人形劇を楽しもう!!
※2017年2月に開催予定です。
木津川地区にお住まいの方には詳細が決まり次第、ご案内を郵送いたします。

メルマガ登録方法!



ecochil-kyoto@wadm.jp

メルマガに登録しませんか?

毎月2回程度、京都ユニットセンターよりお送りするメルマガ会員になりませんか。医師や専門家によるコラム「子育て情報」と、エコチルスタッフによるコラム「ほっとひと息」をお届けしています。新規ご登録の方、アドレス変更のため再登録を

りっちゃんママさんより

いつも楽しいイベントや子育て情報ありがとうございます。少し「しんどい」と思う時に、時々もらう「ほっとひと息」のメールを見てはげまされることが度々あります。今しかない子どもとの触れ合いの時期を大切に、子どもの心に残ってくれたらいいなあと思います。

ご希望の方は空メールを送信してください。氏名のご登録は不要です。次回の配信より皆さまにお届けします。

全国 エコチル調査コールセンター

0120-53-5252

----- フリーダイヤル・年中無休 9:00～22:00 -----

全国共通のエコチル調査コールセンターでは、調査についてのお問い合わせだけでなく、育児相談も承っています。看護師、保健師、栄養士など実務経験豊かなスタッフが親身になって対応いたします。お気軽にお電話ください。

京都地区・投稿者さんより

初めての育児で、子どもが産まれてすぐの頃は不安なことがいっぱいでした。そんな時、何度もエコチルのコールセンターにはお世話になりました。今も「すぐ相談できる・・・」と心の中でのお守りみたいになっています。ありがとうございました。

要予約 育児健康相談のお知らせ

詳細はHPをご覧ください

京都ユニットセンターに参加登録されたエコチル調査参加者の方を対象に、小児科医が個別に無料で面談して相談のります。お子さんの健康や発達に関して心配なこと、気がかりなことがありましたら、お気軽にご相談ください。

※薬や診断書は出ませんので、ご了承ください。
※前日までにお電話にてお申し込みください。折り返し、詳細をご案内いたします。HPのお申し込みフォームからもお申し込みいただけます。

申込について

電話番号と
電話受付時間
★平日のみ

【京都・長浜地区】
075-366-7400
9:00～16:00
【木津川地区】
0774-65-6066
10:00～16:00

さゆママさんより

以前、エコチルの先生に「卵アレルギー」について相談しました。そのときの私は、「この子はアレルギーなんだ。かわいそうに、何がダメだったんだろう？」と悲観的でしたが、先生に「この子は本物のアレルギーじゃない。絶対に食べられるようになる！」と言っていただけ、心が軽くなりました。今ではすっかり食べられるようになった娘。先生、あの時はありがとうございました。

変更はありませんか?

お引越など住所や電話番号などが変更になった場合、お手持ちの「登録内容変更届」にご記入いただき、質問票等と一緒に返送ください。または、京都ユニットセンター(木津川地区の皆さまは同志社大学サブユニットセンター Tel:0774-65-6066)までご連絡ください。

編集後記

オリンピックで日本中が熱くなった夏も終わりました。次は4年後、東京。大半のエコチルキッズたちは小学生になっていますね。いつの日か、エコチルキッズの中からオリンピック選手が出るかも。かわら版10号は、エコチル京都の一大イベント「エコチルフェスタ」を中心に紙面を構成しました。食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋。親子でよい秋をお過ごしください。

■発行 京都大学大学院医学研究科エコチル調査京都ユニットセンター 〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町53 分子生物実験研究棟129号室

Tel:075-366-7400
mail: info@ecochil-kyoto.jp
http://www.ecochil-kyoto.jp/

＝再生紙を使用しています＝
平成28年9月30日発行



環境省エコチル調査

京都ユニットセンター